

文献紹介

関連雑誌の特集

医学図書館. 2004 ; 51 (4)

特集：患者図書サービス

- 総説 患者への医学情報の提供
- 欧米における患者への医学情報サービス
- 総合病院における患者・ご家族への医療情報提供サービスの一事例
- 患者情報室で生きた情報を提供
- 東京都立中央図書館における「医療情報サービス」
- 病院図書室研究会における患者図書サービス—「患者医療図書サービスマニュアル」の作成経緯と今後の取組み
- 日本病院患者図書館協会
- 全国患者図書サービス連絡会
- 医学の基礎知識修得から文献検索まで、利用者の状況に応じた幅広い援助を！
- 患者の求める医学情報と患者の発信する医学情報
- 図書館員が突然入院して

医学図書館. 2005 ; 52 (1)

特集：情報リテラシーサービス

- 大学図書館員のためのオリエンテーション技法
- 情報検索マニュアル作成を軸とした情報リテラシー教育の展開とオープンソースの試み
- 近畿大学中央図書館における利用者サービスと図書館利用ガイダンス
- 京都大学医学図書館における情報リテラシー教育への取り組み
- 慶應義塾大学信濃町メディアセンターにおける情報リテラシー教育事例
- 横浜市立大学医学情報センターにおける利用者教育

- 臨床医学論文執筆に必要な情報リテラシー

薬学図書館. 2005 ; 49 (4)

特集：第21回医学情報サービス研究大会

- EBM情報源における緊急医療情報への対応
- クリエイティブ・コモンズによる「自由に共有できるコンテンツ」とオープンアクセス
- 学術情報流通の新しいトレンド：オープンアクセスの現状について

薬学図書館. 2005 ; 50 (1)

特集：平成16年度日本薬学図書館協議会研究集会

- 『生活習慣病』からあなたを守る栄養学
- e-Learning を使った薬学教育
- インターネットとセキュリティ
- 三重大学附属図書館における情報リテラシー教育支援

ほすびたるらいぶらりあん. 2004 ; 29 (4)

特集：はじめの一步 私はこうしています—

- 基礎的な図書館員の仕事1
- 初めて病院図書館に勤めて
- 分類の変更
- 院内への広報活動
- 利用者教育—看護師への文献検索講習会を開催して
- 廃棄・除籍
- 地域ネットワーク活動—福島県医療機関図書館協議会
- 患者図書室「ひまわり図書室—医学情報プラザ」開設にあたって
- 利用調査・利用統計

文献紹介

ほすびたるらいぶらりあん. 2004 ; 30 (1)

特集：病院図書室研究会2004年度第2回研修会

- 医療コーディネーターと病院図書室－患者と医療者共有の情報センターとして期待するもの
- インターネット上の医療情報の信頼性
- 病院図書室「現行医学雑誌所在目録」における購読数の傾向
- 臨床研修に向けた病院図書室の取組み

看護と情報. 2005 ; 12

特集：看護情報ネットワーク

- 札幌医科大学附属図書館における地域医療支援サービスの展開
- 鳥根県医療関係機関等図書館（室）懇談会

の歩みと大学図書館の役割

- ライフサイエンス・ライブラリアンズちば (LLC) の設立と今後

日赤図書館雑誌. 2004 ; 11

特集：ハイブリッド病院図書館に向けて－担当者に必要な知識と技術－

- 小規模図書館における電子ジャーナルの必要性和選択
- 院内 LAN を活用しての情報発信
- インパクトファクターって何？－雑誌の被引用率からわかること、わからないこと－
- EBM 関連のデータベース
- 医学図書館の蔵書構築
- PubMed LinkOut－病院図書室として参加して－

利用者教育

大学図書館員のためのオリエンテーション技法:印象付けを重視した構成・演出の改善の試み
仁上幸治

医学図書館. 2005 ; 52 (1) : 15-24.

オリエンテーションの教育効果を高めるための、構成と演出の方法にスポットをあてて詳しく解説している。

情報源ア・ラ・カ・ル・ト (4) 情報リテラシー教育を実践するための情報源

江上敏哲

専門図書館. 2004 ; 209 : 29-34.

図書館の情報リテラシーに関する Web 上の資料を集めたリンク集。おのおののサイトに解説がついており、現場での利用教育活動に役立つ。

電子ジャーナル

PubMed LinkOut－病院図書室として参加して－

和気たか子

日赤図書館雑誌. 2004 ; 11 (1) : 25-8.

PubMed LinkOut とは PubMed の検索結果から所属機関で利用できる電子ジャーナルへ直接リンクさせる機能のことで、病院図書室が自力で設定した事例。

SIST02 (補遺) 電子文献参照の書き方

大沼哲也

図書館雑誌. 2005 ; 99 (2) : 90-1.

電子文献を参照することが増えてきているが、その場合の参考文献の書き方について指定のある投稿規程は未だ少ない。バンクーバースタイルでも Web サイトについての記述はな

文献紹介

かったかと思う。SIST はひとつの指針になるので見ておきたい。

その他

インパクトファクターって何？－雑誌の被引用率からわかること、わからないこと－

安田多香子

日赤図書館雑誌. 2004 ; 11 (1) : 13-6.

インパクトファクターについて簡潔に解説されている。

分類の変更

佐藤千春

ほすびたるらいぶらりあん. 2004 ; 29 (4) : 229-33.

独自の分類から NLMC へ分類を変更した事例。

院内への広報活動

山岸里子

ほすびたるらいぶらりあん. 2004 ; 29 (4) : 234-9.

病院図書館の広報活動について、利用案内、新着資料のお知らせ、図書室だより、掲示板を実践しており、それぞれにつけられたコメントおよび写真は参考になる。

廃棄・除籍

松田明子

ほすびたるらいぶらりあん. 2004 ; 29 (4) : 247-50.

廃棄・除籍に関する実務を解説。除籍の基準から、原簿の処理や消印の押し方等の手順まで細かく記されている。

これは危機ではない？－困った利用者よりずっと困った問題群－

仁上幸治

図書館雑誌. 2004 ; 98 (11) : 838-41.

図書館で起こる困った問題を対話式に面白く表現している。貸出と返却では主語がずれており、公共図書館では「借りるところ」「返すところ」、英語は「checkout」「return」で利用者が主語になっているなど何度も目からウロコが落ちる。

図書館用語の表現に関する研究－三つの用語事典の見出し語表記に対する考察－

小田光宏

図書館学. 2005 ; 86 : 35-43.

「曝書」が蔵書点検の意味になっているなど図書館にも独特の用法がある。ここでは図書館用語事典の比較により、図書館用語の問題点をうかびあがらせる。

「EBM」を書名に含む国内臨床医学書の分析と評価

諏訪部直子

医学図書館. 2004 ; 51 : 363-7.

「EBM」が書名に入った医学書はよく目にするが、それらの傾向を把握・分析している。惹句としての「EBM」の現状。

- 文献の入手は、所蔵館へお申し込みください。
- 「情報の科学と技術」は協議会で購読しています。
- 興味ある文献を分かちあいましょう。参考になる文献がございましたら、会誌編集部までお知らせください。